
CLOCK ~90240~

あかいくろねこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

CLOCK ～90240～

【Nコード】

N7275N

【作者名】

あかいくろねこ

【あらすじ】

親友の別れの一言から運命が変わってゆく主人公アルファード・アドリビトムはCLOCKの呪いや90240の謎に巻き込まれ…

……

CLOCKの呪い 〜プロローグ〜（前書き）

初めての小説投稿なので下手ですがよろしくおねがいします。

CLOCKの呪い　　プロローグ

プロローグ　CLOCKの呪い

今からおよそ300年前世界がまだ平らだと思われていた頃、とある王国の考古学者が世界地図の中心に建っていると言われていた時計台より世界を揺るがす災いが降り注ぐと予言した。そしてこれはCLOCKの呪いと呼ばれた。しかし災いはおこることなく……

そして今から100年前全世界を巻き込むほどの大戦争がおこる。その戦争こそ災いだと言々は考えた。だが

「本当のCLOCKの呪いは終わっていない」

この親友の一言で少年アルファード・アドリビトムはこの現代を旅することになる。この物語はアルファードの冒険を記すものである。

扉とDOOR　ゝはじまりの灯々（前書き）

本編開始です。楽しんで読んでいただけたら幸いです。アルファードの冒険のはじまりです。あたたかく旅を見守ってください。

扉とDOOR　くはじまりの灯

豊かに流れる川のほとりで

「ぶはあーさあ水も汲んで腹一杯飲んだから帰るか。」いつもの何気ない時間が流れていたが

「おーい！アルファード！！」

「ん？村長か？」

「大変だ！アルファード、政府のやつらが、とうとう来やがった。」

アルファードから滝のような汗が流れ出した、そしてアルファードは村に向かって走り

「おい！アルファード！待つんだ！」

だがアルファードは鬼のような形相で走っていった。

「もう手が回って来たのか。早過ぎる！このアルーセ共和国は、そんなに大変な状況なのか！」

村に着いた時には見えない黒服の男達がたくさんいて村人は捕まっていた。

「キヤーツ」

という女や子供の悲鳴が飛び交っていた……その光景は村にとって地獄のようだった

（くそっ！みんな助けてやるからな！）そう自分に言い聞かせ戦お

うとした！

だがアルファードは足が止まった。

「いくな！アルファード」

そう叫んだのは追いかけて来た村長だった

「だけど……」

「アルファード、お前は強い。みんなも知っている」

「だったら」

「だからこそだ！お前にはやるべきことがあるだろう！私たちにはできないんだ！ガイを探さすんだろ。そしてCLOCKの呪いを解明するんだろう」

村長は力強く話した。

その直後！

「森に隠れる！」

そう言つて先程下つて来た川にアルファードをつき落とした。アルファードをつき落とした村長は黒服の男達の前に立ち

「政府の兵士たち、わしの話を聞いてもらいたい」

すると兵士の代表のような人が前に出て

「私はアルーセ共和国の兵士の団長、ローズ・マリオネットだ。あんたが村長か……」

「いかにも私は村長のノイズだ」

「あんたには悪いが話を聞いている時間がないので全員連れていく」

間髪もいれずにローズは答えた

「まで！話を聞け！」

村長は力強く言ったが兵士たちはすぐに捕獲を開始した。

「私は村長だ。この私一人の命で帰ってくれ！」

村長はものすごい大きな声を出した

「いつまでも目障りだ！殺せ！！！」

ローズは兵士たちに命令した。

そして兵士10人は村長に切り掛かった。

だが次の瞬間、そこにいるものたちは全員、目を疑った。

すごい砂ぼこりがたち、そこに立っていたのは歳老いた老人の村長だった！！……

「まさかこの力を使うとはな…だが今は仕方ない。」

村長はそう言った。

そのためかそこにいる者たちは呆然としていたが、一人違う雰囲気
の者がいた……

「貴様！扉を開けたんだな！」

「いかにも！よくご存知で。」

「そのオーラなかなかの物だな。こんな田舎で見ることになるなんてな」

そこでやっと村人たちは異変に気づいた。

村長の体から青いオーラが溢れだしていた！！！！

「なんだあのオーラは？？」

村人たちは息を揃えて言った

以外にもローズが答えた

「あれは世界中に存在する“扉”を開けたDOORと呼ばれる者のみに使うことのできる力だ！それぞれの扉によってオーラの属性も異なるといわれている……」

「団長さん、やけに詳しいな……」

「まあーな。DOORは貴様一人じゃないってことさ！」

ローズは笑みを浮かべ……

! ! ! ! ! ! ! ! ! !

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7275n/>

CLOCK ~90240~

2010年10月9日15時19分発行